

4年連続のプラス成長

調査研究部

1 域内総生産：1.3%成長

九州の2018年度成長率は全国と同水準

当会は、九州（沖縄県含む。以下同様）の2018年度実質域内総生産成長率を前年度比+1.3%と予想する。これは4年連続のプラス成長である。また、2018年度の九州の成長率は、全国の民間予想（シンクタンク10社平均：同+1.2%）を0.1%pt上回り、政府見通し（同+1.8%）を0.5%pt下回る。

九州の2018年度の成長率の牽引役は設備投資である。2017年度に引き続いて、堅調な外需と供給側の人手不足に対応するための省人化需要の拡大を見込む。

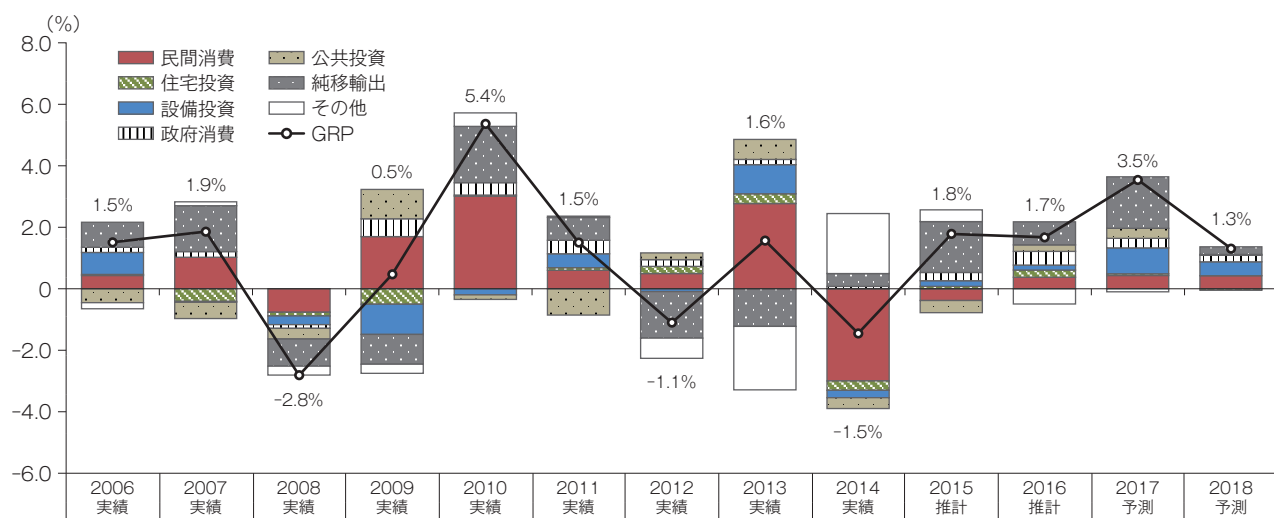
民間消費は、全国に及ばないものの3年連続のプラス成長となる見通しだ。九州においても雇用の引き締めによる正社員の増加がみられ、足下の企業の好業績も相まって、家計所得に一定程度波及する

表1 2018年度九州経済見通し（実質、前年度比）

		(単位：％、%pt)					
年 度		2014 (実績)	2015 (推計)	2016 (推計)	2017		2018 (予測)
					(前回)	(今回)	
九州・ 沖縄	域内総生産 (固定基準年方式)	▲ 1.5	1.8	1.7	3.5	3.5	1.3
	民間消費	▲ 4.6	▲ 0.6	0.6	0.6	0.7	0.7
	民間住宅投資	▲ 11.1	3.0	9.4	2.3	2.1	▲ 2.0
	民間企業設備投資	▲ 2.0	1.5	1.3	6.8	6.8	3.6
	政府消費	0.3	1.1	1.9	1.4	1.3	0.9
	公共投資	▲ 6.5	▲ 7.7	4.5	6.7	6.7	0.6
	純移輸出(寄与度)	0.4	1.7	0.8	1.7	1.7	0.2
	鉱工業生産指数 (九州7県)	0.6	1.0	4.3	3.8	2.2	1.6
全 国	国内総生産 (連鎖方式)	▲ 0.3	1.4	1.2	1.8	1.8	1.2
	民間消費	▲ 2.5	0.8	0.3	1.4	1.1	0.9
	民間住宅投資	▲ 9.9	3.7	6.2	2.1	1.6	▲ 0.5
	民間企業設備投資	3.3	2.3	1.2	4.4	3.3	2.5
	政府消費	0.4	1.9	0.5	0.6	0.5	0.8
	公共投資	▲ 2.0	1.4	0.9	3.3	1.4	▲ 1.7
	純輸出(寄与度)	0.6	0.7	0.7	0.0	0.4	0.1
	鉱工業生産指数	▲ 0.5	▲ 0.9	1.1	4.1	4.5	2.4

注) 1. 九州は2005年基準、全国は2011年基準
2. 網掛け箇所は実績値、その他は推計・予測値
3. 2017・2018年度の国内総生産は民間シンクタンク10社の予測値平均（2017年7～9月期2次QE後改定値）
4. 2017年度の前回予測は2017年9月15日発表の改定値
資料) 九経調作成

図1 実質成長率の需要項目別寄与度（九州、前年度比）



資料) 内閣府「県民経済計算」、九経調推計・予測